

# WRV NEWS LETTER

WILDLIFE RESCUE VETERINARIAN ASSOCIATION

特定非営利活動法人 野生動物救護獣医師協会

No.97

2016.6.25 発行



野生動物救護獣医師協会は、保護された傷病野生鳥獣の救護活動を通じて市民の野生鳥獣保護思想の高揚をはかるとともに、地球環境保護思想の定着化を目指しています。そのために、常に世界の情勢を学び、会員相互の連絡、交流を行い、治療、研究および知識の普及をはかり、社会に貢献していくことを目的としています。

## No.97 目次

平成 28 年度総会報告 (収支報告) . . . . .	2
神奈川支部新役員紹介 . . . . .	3
施設紹介ー富山県鳥獣保護センター . . . . .	4-5
施設紹介ー浜松市動物園 . . . . .	6-7
平成 28 年度「ヒナを拾わないで!! キャンペーン」 . . . . .	8
写真のご紹介(笈洋二氏) . . . . .	9
●青野恭典先生・永眠される● . . . . .	9
馬場國敏先生・(公社) 日本鳥類保護連盟総裁賞を受賞 . . . . .	10
書籍紹介ー「生き物と向き合う仕事」(田向健一 著) . . . . .	11
寄付のお礼 . . . . .	11
事務局日誌 . . . . .	11-12

# 平成28年度総会報告(収支報告)

平成28年4月2日(土)に平成28年度総会がWRV・立川事務所にて開催され、全ての審議案件について承認されました。以下に、平成27年度収支報告・平成28年度収支予算を改めてご報告致します。

## 会計報告 (特定非営利活動)

平成27年度収支報告書(平成27年1月1日から平成27年12月31日まで。単位:円)

収入の部	金額	支出の部	金額
年会費収入	1,105,000	事業費	
事業収入	535,000	①傷病野生動物の救護と野生復帰	318,620
委託事業収入	7,647,210	②病性鑑定及び疫学調査	0
補助金収入	0	③学会報告、会報、講習会、HP等	5,461,408
寄付金収入	52,597	④野生動物の傷病予防に関する事業	6,380
預金利息	6,156	⑤生物多様性の保全に関する事業	9,174
雑収入	0	⑥野生動物の救護施設に関する事業	0
収益事業会計繰入金	0	⑦他団体との交流	100,111
収益事業収入	161,180	⑧収益事業原価	35,937
		管理費	2,342,791
		租税公課(消費税)	435,300
当期合計金額	9,507,143	当期合計金額	8,709,721
当期収支差額	797,422		
法人税等充当金	-70,000		
前期繰越収支差額	35,704,549		
次期繰越収支差額	36,431,971		

### <平成27年度の主な事業実績>

- ・環境省水鳥救護研修センター業務請負事業(水鳥救護研修・情報整備事業等)
  - ・同請負事業及び東京都の協力による現地研修(鹿児島県鹿児島市)の実施
  - ・WRV鹿児島支部設立
  - ・日本獣医生命科学大学、東京環境工科専門学校 等委託特別実習の開催
  - ・傷病鳥獣救護活動、および診療カルテの集約、学会参加等
  - ・「ヒナを拾わないで!!」キャンペーンの実施(共催)
  - ・ボランティア向け講習会の開催
  - ・関係団体との事業協力および事業への参加(本部、各支部)
  - ・学術講習会の開催(東京都支部、本部)
  - ・動物感謝デー、東京港野鳥公園フェスティバル等に出展(本部、東京都支部)
  - ・野生動物リハビリテーター養成事業(神奈川支部、大阪支部)
  - ・東京都内にてリハビリテーター養成講習会の開催
- その他

平成28年度予算案(平成28年1月1日から平成28年12月31日まで。単位:円)

収入の部	金額	支出の部	金額
年会費収入	1,100,000	事業費	
事業収入	525,000	①傷病野生動物の救護と野生復帰	430,000
委託事業収入	8,125,000	②病性鑑定及び疫学調査	20,000
補助金収入	0	③学会報告、会報、講習会、HP等	6,620,000
寄付金収入	50,000	④野生動物の傷病予防に関すること	10,000
預金利息	0	⑤生物多様性の保全に関すること	10,000
雑収入	0	⑥野生動物の救護施設に関する事業	10,000
収益事業会計繰入金	0	⑦他団体との交流	100,000
収益事業収入	200,000	収益事業原価	50,000
		管理費	2,300,000
		租税公課(消費税)	450,000
当期合計金額	10,000,000	当期合計金額	10,000,000
前期繰越収支差額	36,431,971	当期収支差額	0
		法人税等充当金	0
		時期繰越収支差額	36,431,971

## 神奈川支部新役員紹介

WRV 神奈川支部長 皆川康雄

WRV 神奈川支部は、平成 15 年の発足以来、13 年にわたり活動して参りました。このたび、支部長として会を牽引されてきた馬場國敏先生が勇退されることになりました。これを機に、全役員の新世代交代を図り、一新することといたしました。ここに改めて前役員でありました馬場支部長、中馬昌平副支部長、羽山伸一監事の先生方に、これまでのお働きに感謝申し上げる次第です。

新役員一同、これまでの実績を踏まえ、よりいっそう野生動物救護活動を促進させ、人と野生動物との共生に精励する所存でございます。これまで同様、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

### WRV 神奈川支部 新役員 (2016 年 4 月より)

- ・ 支部長 皆川康雄 (東京環境工科専門学校特任教員)
- ・ 副支部長 片野理恵 (あじさい動物病院副院長)
- ・ 事務局長 箕輪多津男 (WRV 本部事務局長)
- ・ 監 事 加藤卓也 (日本獣医生命科学大学講師)
- ・ 顧 問 馬場國敏 (初代 WRV 神奈川支部長)

ここで、新任の先生を紹介します。副支部長の片野先生は、元馬場動物病院の勤務医で、現在相模原市内で開業されています。監事の加藤先生は、羽山先生と同じ野生動物学教室に所属され、主に外来種対策や保全医学に取り組まれています。

さて、新体制の初仕事は、神奈川支部専用のホームページをリニューアルしたことです。構想から 3 年以上になりますが、同支部が養成認定した神奈川県野生動物リハビリテーターと共同で作成したもので、この記念すべき機に公開に漕ぎ着けたことは、大変うれしく思っております。

トップページにあるタイトル『とまり木』は、私たちが救護する野鳥たちは、ゲージの中の「とまり木」でしばし羽を休めています。次に羽ばたくその瞬間まで、「とまり木」が鳥たちの支えとなります。私たちも救護された野鳥たちの「とまり木」のような存在でありたい。そんな願いを込めて付けたタイトル名です。ぜひ皆さんにご覧いただきたいです。[<http://wrv-kanagawa.net/>]

また、神奈川支部には専用の facebook があることをご存知でしょうか？ 救護活動の最新情報やイベント、講習会の告知や報告をメインに更新しています。ぜひ「いいね！」で応援してください。[<https://www.facebook.com/wrv.kanagawa>]

最後になりますが、今後とも神奈川支部へのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

## 施設紹介

# 富山県鳥獣保護センター

富山県鳥獣保護センター 管理員 見浦 沙耶子

〒939-2632 富山県富山市婦中町吉住 1-1

TEL : 076-469-5555 FAX : 076-469-5865

E-MAIL : shizen@toyamap.or.jp

## 施設概要

富山県鳥獣保護センターは、富山県の中央部にある射水丘陵に位置し、傷病鳥獣救護業務の他、リフレンス活動を行い、鳥獣救護を通じ野生動物や自然環境について考え、学ぶことを目的として昭和59年10月に開設されました。自然教育の拠点として昭和56年に設立された「自然博物館ねいの里」に併設されており、公益財団法人富山県民福祉公園が一体的に管理しています。

当センターには救護室（処置室）と8つの野化訓練室（一部屋約10㎡）、及び屋外に210㎡の野化訓練場があります。野化訓練場は高さがないのでフライングケージとしては利用しておらず、地上性のキジやヤマドリ、哺乳類ではタヌキ、ノウサギ等の場合に使用しています。ただし、冬期間は積雪のため使用できません。

受け入れは鳥類と獣類に限定しており、近年増加傾向にあり農作物被害も深刻なイノシシ、ニホンジカ、ニホンザル、ハクビシン、カラス等は基本的に受け入れていません。

センター長と係長はねいの里の職員が兼任しており、実際に傷病鳥獣の救護にあたる専任スタッフは3名（すべて期間雇用職員）です。獣医師は常勤していません。

傷病鳥獣の搬送に関しては発見者自身か、市町村の鳥獣保護行政担当部署、県から委託されている50名の鳥獣保護員の方をお願いしています。



鳥獣保護センター外観



野化訓練室には観察窓があり、扉をめくると中の様子観察できます



救護室内での雛の給餌の様子

## 業務概要

年によって変動はありますが、年間の収容数は300個体ほどで、一番多い救護事例は春から初夏にかけての雛鳥のケースです。

巣立ち雛に対してはむやみに救護しないように指導をしており、愛鳥週間中の「ヒナをひろわないDAY」という行事でPRもしています。しかし、どうしてもネコやカラスによる捕殺や交通事故が心配で、置き去りにできないという救護者の方も多く、説得が難航することもしばしばです。

獣医師による診療は、指示薬の処方や感染症対策、及び外科手術等が必要とされたときに、県の家畜保健衛生所の担当獣医師と県の獣医師会からの推薦を受けた開業獣医師に依頼しています。家畜保健衛生

所の獣医師は、普段野生動物を診察・治療することなどないにも関わらず、親身に相談に乗ってくださり、常勤ではないですがとても頼りになる存在です。

こちらの施設は部屋数も少なく、雛が多く持ち込まれる時期には収容スペースが足りなくなります。そのため、健康な雛たちは、羽ばたくようになったらメッシュテントに入れて、数日間の飛翔訓練を行ったのちに放野しています。

テントは、センターの前に5月頃から設置しています。夜間、テントの中に照明をつけて明りに集まる虫を誘引したり、米ぬかにノシメダラメイガを湧かせて採餌訓練に利用しています。

ツバメはホバリングしてピンセットからミルワームを食べるところからはじめ、エサやりの間隔をあけてお腹をすかせる、舞い上がったガをフライングキャッチするようになり、そばにいと虫を捕まえるたびに「パチンッ！パチンッ！」と嘴がなる音が聞こえます。若鳥たちの訓練テントは、「ねいの里」の来園者や救護者の方にも好評です。

獣類に関しては、放野後にどのくらい野生で生活できているのかを知るため、一部に発信器を装着して追跡調査をはじめました。現在の調査対象は救護された幼獣のタヌキです。昨年からはじめてばかりの調査なのでまだ2頭のみですが、毎年タヌキの幼獣が救護されるので、継続して行いたいと考えています。

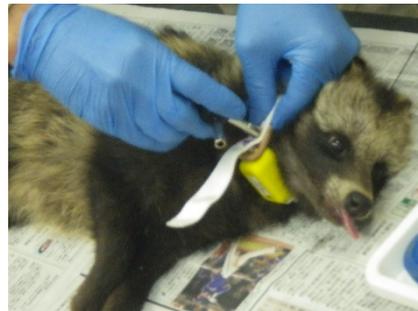
鳥類に関しては放野後の調査はおこなっていませんが、今後足環等の装着も出来ればと考えています。



「ヒナをひろわないDAY」での紙芝居の読み聞かせの様子



テントの中の鳥を観察する子供達



タヌキに発信器をつけているところ

### 【近年の受け入れ個体数】

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
鳥類	181	237	275	251	291
獣類	25	31	33	28	32
卵	45	15	89	44	70
合計	251	283	397	323	393

### 最後に

なかなか満足な治療を行うことはできない施設ですが、今後は治療成果や放野実績の裏付けをとるための調査やデータの分析、傷病の発生を未然に防ぐための普及活動などにもできるだけ力をいれていきたいと考えています。

全国の同様の施設の方々、あるいは野生動物の診療をしておられる獣医師の先生方と、意見交換などできたら大変ありがたいです。どうぞご指導のほど、よろしくお願いします。

# 浜松市動物園

〒431-1209 静岡県浜松市西区舘山寺町 199

TEL : 053-487-1122 FAX : 053-487-1125

浜松市動物園 動物飼育研究グループ 神保達也

## 【浜松市動物園について】

浜松市動物園は、昭和25年（1950年）9月に浜松城公園（浜松市中区松城町）で開催された「浜松こども博覧会」の動物舎をもとに、同年11月1日に、静岡県内初の動物園として開園しました。その後、施設の老朽化に伴い、また、都市公園整備事業の一環として、昭和58年4月に現在の舘山寺総合公園（浜松市西区舘山寺町）に移転しました。

当園は、市の西部に位置し、浜松市フラワーパークと併せ44.6haの総合公園として、緑の多い起伏に富んだ地形を利用し、動物たちが自然の中で生息している姿に近づけるよう設計されており、猛獣舎は無柵式放養式を採用、ミニサファリ形式によるキリン、シマウマ、ダチョウの大放飼場が設けられました。また、フライングケージには約20種の鳥たちを放し飼いにし、その中を通りながら自然の生態を観察することができます。

## 【業務内容・施設の紹介】

当園は、静岡県が鳥獣保護管理事業計画に基づき実施する「傷病野生鳥獣保護事業」の一部業務を受託し、県中遠及び西部地域（浜松市、磐田市、掛川市、袋井市、湖西市、御前崎市、菊川市、森町）を所管する県農林事務所または県自然保護課で確認・保護された傷病野生鳥獣について、収容・治療を行っています。ちなみに、野鳥のヒナ及び出生後の幼獣や、農林水産業等に多大な被害を与え、かつ生息数が多い種（カラス、イノシシ、シカ、等）は収容対象となっておりません。



専用施設がないため、業務は園内の動物病院を併用し、伝染病予防等衛生面に十分配慮して行っています。動物病院には、処置室兼手術室、レントゲン室、検査室、入院室があり、また併設する育雛舎を、治療後のリハビリテーション等を目的とした屋外飼育室として使用しています。現在、常勤職員（獣医師）3名及び再任用職員1名が動物園業務と兼務で対応しています。

### 【野生鳥獣に保護状況】

平成20年度から平成27年度までの過去8年間における当園に持ち込まれた傷病野生鳥獣の総件数は1,745件で、内訳は、鳥類1,458件、哺乳類287件で、鳥類は全体の83.5%を占めています。

鳥類の保護原因は、幼鳥（ヒナ）の誤認保護によるものが最も多く、次いで、成鳥の外傷・骨折となっています。哺乳類では、疥癬症の罹患に伴う衰弱が多く見受けられます。

種別保護状況を見ると、鳥類ではツバメ16.0%、スズメ10.9%、キジバト9.6%、ドバト7.5%、哺乳類では、ホンダタヌキ58.3%、ハクビシン17.6%の順に多くなっています。

		
処置室兼手術室	検査室	レントゲン装置

### <過去3カ年の保護状況>

年度	鳥類		哺乳類		合計	
	保護数	放鳥数	保護数	放獣数	保護数	放鳥獣数
平成25年度	183	61	25	4	208	65
平成26年度	178	60	21	3	199	63
平成27年度	94	24	13	0	107	24

最後になりますが、当園は年末年始の休園日を除いて、9時から16時半まで開園しています。静岡県浜松市にお越しの際には、是非、浜松市動物園へご来園ください。

## ◆平成28年度「ヒナを拾わないで!! キャンペーン」◆

WRV事務局長 箕輪 多津男

WRVでは、(公財)日本鳥類保護連盟及び(公財)日本野鳥の会との共催により、平成28年度も引き続き、「ヒナを拾わないで!! キャンペーン」を実施致しております。

本年度のキャンペーンに関して、当協会あてにご協賛いただきました団体(または企業)は、それぞれ以下の通りとなっております。ポスターにも既にご芳名を掲載させていただいておりますが、昨今の厳しい社会情勢や経済情勢の中、多大なるお力添えを賜わり、誠にありがとうございました。ここに、改めて深く感謝申し上げます。

### <ヒナを拾わないでキャンペーン/協賛団体リスト> (45団体:五十音順)

公益社団法人 愛知県獣医師会  
公益社団法人 石川県獣医師会  
一般社団法人 茨城県獣医師会  
おおくぼ動物病院  
公益社団法人 大阪府獣医師会  
公益社団法人 北九州市獣医師会  
公益社団法人 京都市獣医師会  
株式会社 キリカン洋行  
国際動物専門学校  
公益社団法人 静岡県獣医師会  
全国愛鳥教育研究会  
東京環境工科専門学校  
公益社団法人 栃木県獣医師会  
公益社団法人 名古屋市獣医師会  
新妻動物病院  
公益社団法人 日本動物病院協会  
文永堂出版 株式会社  
公益社団法人 三重県獣医師会  
武蔵村山ペットメモリアルパーク  
森久保薬品 株式会社  
野生動物リハビリテーター協会  
公益社団法人 横浜市獣医師会  
公益社団法人 和歌山県獣医師会

公益社団法人 秋田県獣医師会  
イソップ薬品 株式会社  
一般社団法人 岩手県獣医師会  
公益社団法人 大阪市獣医師会  
大宮国際動物専門学校  
公益社団法人 岐阜県獣医師会  
公益社団法人 京都府獣医師会  
公益社団法人 神戸市獣医師会  
公益社団法人 滋賀県獣医師会  
NPO 法人 自然環境アカデミー  
高尾霊園犬猫墓地  
公益社団法人 東京都獣医師会  
中津動物病院  
公益社団法人 新潟県獣医師会  
公益社団法人 日本獣医師会  
一般社団法人 兵庫県獣医師会  
公益社団法人 北海道獣医師会  
一般社団法人 宮崎県獣医師会  
ムナテックス 株式会社  
野生動物ボランティアセンター  
公益社団法人 山口県獣医師会  
株式会社 吉元

会員の皆様には、前号のニュースレターとともに既にポスターをお送りさせていただきましたが、本キャンペーンの主旨をお汲み取りいただき、これからもその普及啓発のためにご協力いただければ幸いに存じます。

スズメやツバメをはじめとして、私たちの最も身近な野鳥たちの個体数や生息状況が年々悪化しているのではないかという指摘が、様々な研究者や自然保護活動に携わっておられる方々より、次々となされております。

WRVでは、そうした状況の中、少しでも事態が好転していくための一助となるべく、未永く活動を展開していきたいと考えております。同時に、傷病野生鳥獣の救護活動につきましても、地道に努力してまいる所存ですので、皆様のご支援とご協力を、今後ともよろしくお願い申し上げます。

# 写真のご紹介

WRV にて5年あまり会計を担当していただいた寛洋二氏が、昨年お亡くなりになりました。氏はご生前、ライフワークの一つとして、写真撮影に情熱を傾けておられました。

ここに頂戴していた写真のうち、幾点かを掲載させていただきますとともに、改めて心より、ご冥福をお祈りさせていただきます。

撮影：寛洋二氏



捕食の瞬間のアオサギ



オランウータンの子ども



見事なアヤメの花



鮮やかなポピーの花

## ●青野恭典先生・永眠される●

去る1月26日、賛助会員として、長年に渡りWRVの活動をご支援いただきおりました青野恭典先生がご逝去されました(享年78歳)。

青野先生は、日本を代表する写真家のお一人として、特に山岳写真や風景写真を中心に、膨大な数の作品を残され、各地での写真展の開催や、そのご功績に対して各方面から表彰されるなど、幅広く活躍されてこられました。また、日本獣医畜産大学(現・日本獣生命科学大学)ご出身の獣医師ということもあり、WRVの理事あるいは関係者の中には青野先生の後輩に当たる方も多く、それぞれお互いのご交流を、生涯に渡って続けておられたご様子でした。

ここに改めて、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

なお、青野先生のフォトギャラリーは、今後も継続していかれるようですので、もしお近くに行かれる際には、是非、お立寄りいただければと存じます。



### ◆青野恭典フォトアートギャラリー◆

〒399-4497 長野県伊那市西春近(広域農道沿い) かんてんぱぱホール内

TEL: 0265-78-5107

ホームページ\* <http://www.kantenpp.co.jp>

## 馬場國敏先生・(公財)日本鳥類保護連盟総裁賞を受賞



去る5月15日(日)、ヒルトン小田原リゾート&スパ(神奈川県小田原市根府川)にて開催されました「第70回愛鳥週間・全国野鳥保護のつどい」におきまして、WRVの理事を長年に渡り務めてこられました馬場國敏先生が、(公財)日本鳥類保護連盟総裁賞を受賞されました。

本賞は、毎年行われている「野生生物保護功労者表彰」の中でも最高賞として位置づけられ、全国で野生動物の保護活動に活躍されておられる有数の方々の中から、年に1名のみが受賞するという誠に荣誉ある賞であります。日常的な傷病鳥獣救護に始まり、国内外の油汚染鳥や各地の自然災害時におけるペット類や野生動物の保護活動、さらには、動物愛護思想の普及や様々な教育活動への尽力など、馬場先生のこれまでの数々のご功績が、改めてこのような受賞に繋がった次第で、WRV一同といたしましても、この上ない喜びを感じるばかりです。ここに改めて、馬場先生の受賞を心より祝したいと存じます。

当日の記念式典においては、日本鳥類保護連盟の総裁であられる常陸宮殿下より、直接馬場先生に賞状が手渡され、満場の拍手とともに会場が湧き上がりました。また、式典の後に開かれた「愛鳥懇話会」のパーティーにおいては、今回の一連の受賞者(野生生物保護功労者)を代表して馬場先生がスピーチをされ、参加された多くの方々から改めて祝福を受けておられました。



記念式典会場の様子



総裁賞授与式

なお、今回の式典には、これまでWRV神奈川支部の副支部長を務めていただいていた中馬昌平先生や、4月より神奈川支部長に就任した皆川康雄先生をはじめ、WRVにも馴染みのある方々も来場され、お互いの近況報告や情報交換等を通じて、それぞれに親睦を深めることができたように思われます。

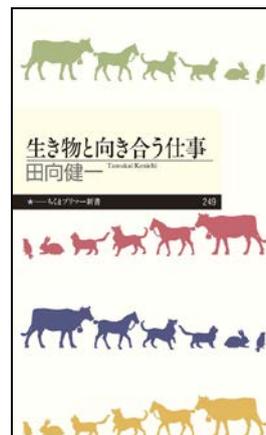
終わりに、馬場先生の今後の益々のご活躍とご発展をご祈念すると同時に、これからは是非、ご指導とご厚情を改めてお願い申し上げる次第です。

(WRV事務局長 箕輪)

「生き物と向き合う仕事」(田向健一 著)

WRVの理事を務めていただいている田向健一先生(田園調布動物病院・院長)が著された「生き物と向き合う仕事」が、本年2月に発行されました。

本書は、これまで哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類と、ペットとして飼われている動物から、野生動物に至るまで、実に様々な動物種の診療にあたってこられた先生の長年の経験をもとに、生き物のふしぎや体の構造、進化や分類の話、そして何より命と日々向き合う獣医師の仕事について、大変わかりやすくまとめられています。中でも、獣医師として18年間活躍してこられた臨床現場における具体的かつ臨場感あふれる数々の事例と、動物の診察から手術に至る一連の医療行為における、過去に例のないような新たな工夫やチャレンジ、そして医療用道具の開発等に関する記述には、一般の読者のみならず、獣医療関係者にとっても大きな感動を呼ぶのではないかと思います。



序章の「僕が獣医師になったわけ」にも記されております通り、本書は特に、これから獣医師や動物看護師をはじめ、生物学や生態学、生命科学に広く関係する何らかの仕事についてみたいという若者たちには是非、一読をお勧めしたい一冊です。もちろん、それ以外の普段、動物たちとはあまり縁のないような人を含めた多くの方々にとっても、新たな世界に視野を広げさせてくれる絶好の書になることは間違いないでしょう。

(箕輪)

■ 「生き物と向き合う仕事」 (ちくまプリマー新書 249)	田 向 健 一 著 サイズ：新 書 版 発 効 日：2016年2月10日	本体価格：820円(税別) ページ：207ページ 出版社：(株)筑摩書房
-----------------------------------	--	--

※ご購入については、お近くの書店、あるいは筑摩書房サービスセンター(048-651-0053)にお問い合わせください。

【 事務局より寄付のお礼 】

寄付ご協力者(敬称略) (平成28年3月1日から平成28年5月31日)

- 寄付金(一般)2016.3.18 中村富士子 10000円
- 寄付金(一般)2016.4.7 アミ動物病院(安田剛) 13,031円
- 寄付金(一般)2016.5.22 東京港野鳥公園フェスティバル(募金箱) 1,320円
- 神奈川支部寄付金
  - 2016.3.21 夢見ヶ崎動物公園動物園まつり(募金箱) 2,462円
  - 2016.4.30 小林芹香 2,000円
  - 2016.4.30 古田彩夏 2,000円
  - 2016.4.30 藤田咲 2,000円
  - 2016.4.30 矢野陽 2,000円
  - 2016.4.30 宮本沙綾香 2,000円
  - 2016.4.30 野本ちひろ 2,000円

事務局日誌 2016.3.16~2015.6.15

=== 3月 ===

- 19~21: 開園春まつり(金沢動物)[神奈川支部] 対応: 皆川
- 21: 春の動物園まつり(夢見ヶ崎動物公園)[神奈川支部] 対応: 皆川
- 22: SJD グルーミングスクール卒業式(ホテルベルクラシック) 出席: 新妻
- 22: WRV 事業関連の打合せ(日本獣医生命科学大学) 対応: 加藤、箕輪
- 25: WRV ニュースレターNo.96 発行
- 27: ロイヤルカナン講習会(ホテルニューオータニ東京) 出席: 新妻
- 27: 傷病野生鳥獣保護飼育ボランティア・救護技術講習会(徳島市とくぎんトモニプラザ) 講師: 中津
- 28: JEDIC理事会((公社)日本海難防止協会) 出席: 箕輪
- 28: 第30回わいわいサロン(神奈川県野生動物リハビリーター交流会)[神奈川支部] 対応: 皆川

=== 4月 ===

- 01:平成28年度「ヒナを拾わないで!! キャンペーン」スタート 対応:箕輪  
01:平成28年度「水鳥救護研修・情報整備事業」契約締結(環境省) 対応:曾根  
02:平成28年度WRV総会(立川事務所) 出席:新妻、小松、倉林、小森、箕輪、曾根  
02:平成28年度WRV東京都支部総会(立川事務所) 出席:新妻、小松、倉林、小森、箕輪、曾根  
03:麻布大学麻門会総会(東京オペラシティタワー) 出席:新妻  
09:神奈川県野生動物リハビリテーター更新講習会(地球市民かながわプラザ)[神奈川支部] 対応:皆川、箕輪  
10:丹沢シカカウント法による個体数調査(丹沢掛札地区)[神奈川支部] 対応:皆川  
13:ファンドレイジング入門講座(日本財団ビル)[神奈川支部] 参加:皆川  
14:水鳥救護研修センター・調査対応に関する打合せ(環境省) 対応:箕輪、曾根  
15:練馬区西青色申告会指導部委員会(西青色申告会事務所) 出席:新妻、町田  
18:会計検査院・調査(環境省水鳥救護研修センター) 対応:新妻、箕輪、曾根  
19:准認定ファンドレイザー講座(日本財団ビル)[神奈川支部] 参加:皆川  
22:平成28年度かながわ環境教室・講師説明会(神奈川県庁)[神奈川支部] 対応:皆川  
30:平成28年度東京環境工科専門学校インターン生受入(野生動物ボランティアセンター)[神奈川支部] 対応:皆川

=== 5月 ===

- 08:東松山動物慰霊祭(フレサ吉見) 出席:新妻  
09:練馬区西青色申告会 理事会(西青色申告会事務所) 出席:新妻、町田  
12:NPO組織基盤強化ワークショップ(日本NPOセンター)[神奈川支部] 参加:皆川  
15:第70回愛鳥週間全国野鳥保護のつどい(ヒルトン小田原リゾート&スパ) 出席:馬場、中馬、皆川、箕輪  
15:釣り針・釣り糸調査(海釣りポイントの実態調査)(横浜市金沢区福浦岸壁)[神奈川支部] 対応:皆川  
19:箱根シカ生息状況調査(箱根仙石原)[神奈川支部] 対応:皆川  
20,24,25:NPOのためのfacebook講座(かながわ県民活動サポートセンター)[神奈川支部] 参加:皆川  
22:平成28年度東京環境工科専門学校インターン生受入(野生動物ボランティアセンター)[神奈川支部] 対応:皆川  
22:第4回東京港野鳥公園フェスティバル(東京港野鳥公園)[東京都支部] 対応:新妻、曾根、箕輪  
23:第31回わいわいサロン(神奈川県野生動物リハビリテーター交流会)[神奈川支部] 対応:皆川  
26:第25回青色申告会定期総会(勤労福祉会館) 出席:新妻、町田  
28:第1回動物倫理研究会(東京大学)[神奈川支部] 講師:皆川

=== 6月 ===

- 05:平成28年度東京環境工科専門学校インターン生受入(野生動物ボランティアセンター)[神奈川支部] 対応:皆川  
06:神奈川県立旭陵高校出前講義[神奈川支部] 講師:皆川  
08~8/30:企画展「海の生き物SOS!展」(横浜市立よこはま動物園)[神奈川支部] 対応:皆川  
11~12:野生動物リハビリテーター合同勉強会(地球市民かながわプラザ、よこはま動物園)[大阪支部、神奈川支部] 対応:中津、皆川、箕輪、曾根  
15:神奈川県鳥獣総合対策協議会シカ対策専門部会[神奈川支部] 出席:皆川

---

野生動物救護獣医師協会 (ホームページ) <http://www.wrvj.org/> (E-mail) [kyugo@wrvj.org](mailto:kyugo@wrvj.org)

NEWS LETTER No. 97 2016.6.25 発行

発行:特定非営利活動法人 野生動物救護獣医師協会

事務局:〒190-0013 東京都立川市富士見町1-23-16 富士パークビル302

TEL:042-529-1279 FAX:042-526-2556

発行人:新妻 勲夫 編集文責:小松 泰史 編集担当:箕輪 多津男

---